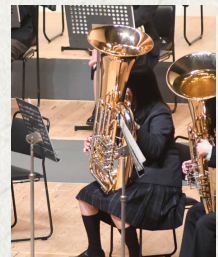
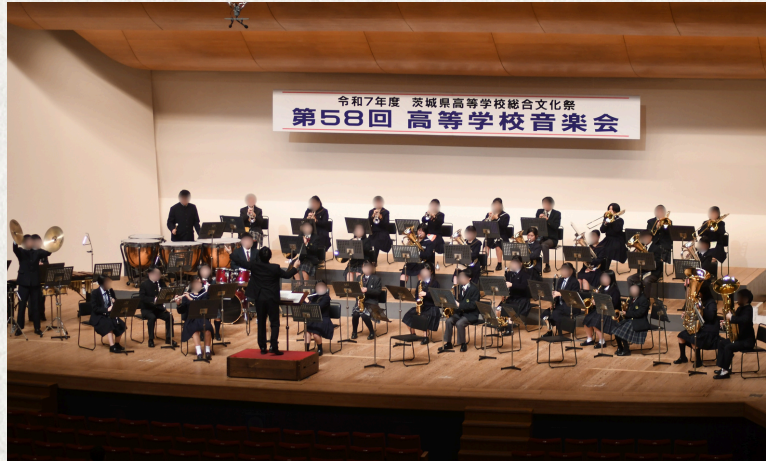


茨城県高等学校総合文化祭

地区の仲間とともに創り上げた音楽！

本校吹奏楽部員4名が力演！



11月11日（火）、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館にて、令和7年度茨城県高等学校総合文化祭の音楽部門である、第58回高等学校音楽会（2日目）が開催された。本校からは4名の生徒が県東地区合同バンドの一員として参加した。この合同バンドは、本校の他、鹿島・潮来・波崎・神栖・麻生の吹奏楽部員で構成されている。生徒数の減少や部活動規模の縮小により、吹奏楽部の活動も年々厳しさを増しているところである。だからこそ、この合同演奏は生徒にとって、本格的な合奏を体感できる、また他校の生徒と交流を図れる貴重な機会なのだ。

この合同バンドは、6月に行われた総合文化祭県東地区音楽会を引き継いだ形で、9月から3回の合同練習を経て本番のステージに立った。単独で県の総合文化祭に出場する鉾田第一高校がメンバーから抜けてしまったり、学校によっては3年生が引退により抜けてしまったりするなど練習の段階から不安要素が多くあった。最初は曲がなかなか形にならず焦りもあったが、曲の中での自身の役割を考え、音楽を楽しむ姿勢を大切にして限られた練習に臨み、曲への思いやメンバーとの関係を深めていった。

迎えた本番で披露したのは、吹奏楽の大人気曲「宝島」とフランスのシャンソンの名曲を吹奏楽アレンジした「愛の讃歌 Special Ver.」の2曲。指揮は本校の西山が担当した。「宝島」では、冒頭から聴衆も手拍子をしてくれるなど客席との一体感を味わいながら盛り上がりを見せた。「愛の讃歌」は、壮大な冒頭に続いて叙情に満ちた歌が奏されるのが特徴である。歌が得意ではないメンバーもいたと思うが、練習の成果が発揮され、聴衆のもとにも届いたことだろう。アップテンポへと突入するとともに楽しさと力強さを増し、大きな満足感とともに演奏を終えることができた。

演奏後、多くのメンバーから「楽しかった」という声が聞かれ、この演奏会に参加して良かったと心から感じられた。次年度以降も引き続き参加し、部員には演奏の楽しさを感じてもらいたい。

【3年生からの言葉】

これまで部活を率いてくれた3年生2名が引退となります。少ない人数の中最後までやり抜いた3年生の健闘を称えたいと思います。本当にお疲れ様でした。



私たちは、3年間吹奏楽部員として、切磋琢磨して活動してきました。これまでの野球応援や、合同演奏会を通し、みんなの心が1つになる瞬間を感じました。また、人々へ想いを”音楽”という形で届ける、言葉にできない感動を味わいました。この経験を支えてくださった、全ての方々に心から感謝申し上げます。